

2020年度春～夏学期末試験問題（筆記試験）

試験科目名	刑法基礎 1	教員名	豊田 兼彦
-------	--------	-----	-------

次の各問いに答えなさい。（80点満点）

【問1】（配点：55点）

甲は、Aが歩道上で自転車にまたがったままBと談笑しているのを見ていたら、Aに対し、「道を塞ぐな」と怒鳴りつけたことから、両者は言い争いとなった。甲は、いきなりAの足を1回強く蹴り（第1暴行）、走って逃げた。Aは、「待て」と言いながら自転車で甲を追いかけて、第1暴行の現場から約90メートル離れた歩道上で甲に追いつくと、自転車に乗ったまま、水平に伸ばした右腕で、甲の背後から、甲の首付近を強く殴打した（第2暴行）。甲は、Aの攻撃により前方に倒れたが、起き上がり、Aの顔面付近を殴打し（第3暴行）、Aの顔面に傷害を負わせた。Aは、脳梅毒に罹患し脳組織が軟化していたため、Aの前記傷害により生じた脳組織の崩壊により、3日後に死亡した。Aの脳梅毒は、一般人に認識し得えず、甲も認識していなかったものであり、Aの前記傷害は、健常な者であれば1週間ほどの加療で治癒するものであった。甲は、Aに第3暴行を加えたとき、飲酒によるアルコール中毒により弁識能力が著しく減退した状態であった。

甲の第3暴行について、甲の罪責を論じなさい。

【問2】（配点：25点）

甲と乙は、A方の明かりが消えたら乙がA方屋内に侵入し、内部から入口の鍵を開けて侵入口を確保した上で、甲も屋内に侵入して共に強盗に及ぶという計画を立てた。某日午前2時頃、甲と乙は、A方前に赴き、前記計画に基づいて、乙がA方に侵入し、甲のための侵入口を確保した。乙が強盗に着手する前に、甲は、現場付近に人が集まってきたのを見て犯行の発覚を恐れ、乙に電話をかけ、「人が集まっている。早くやめて出てきたほうがいい」と言ったところ、乙から「もう少し待って」と言われたが、「危ないから待てない。先に帰る」と一方的に告げただけで電話を切り、現場付近から立ち去った。乙は、いったんA方を出て甲が立ち去ったことを知ったが、同日午前2時50分頃、そのまま強盗を実行し、Aから現金を強取した。

甲及び乙の罪責について論じなさい。